

UP-02

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

デジタルツインを 用いた政策設計による EBPM推進強化

富士通株式会社

2026年7月

© 2026 Fujitsu Limited

データに基づき政策を選び、改善する社会へ

uvance

- EBPMは単なる分析ではなく、政策を継続的に進化させる運営モデル



政策効果の 最大化

限られた財源・人材の中で
施策の効果を最大化



継続的な 施策の進化

実施結果をデータとして取り込み
次の施策へ反映し改善を継続



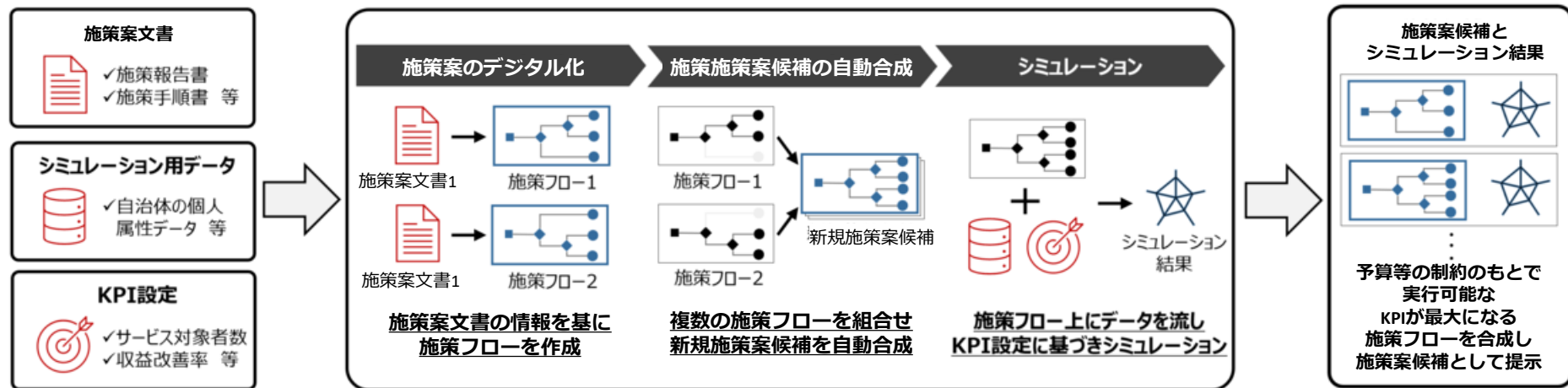
運営モデルの 変革

「計画・実行」で終わらず、
「評価・改善」まで一体で回す

施策を“数理的に解ける問題”へ

uvance

- 施策案を構成する要素をプロセスとして組み替え、
住民の状態・制約事項を考慮し、統計上、効果が最大になる施策フローを合成



生成AIによる政策の構造化

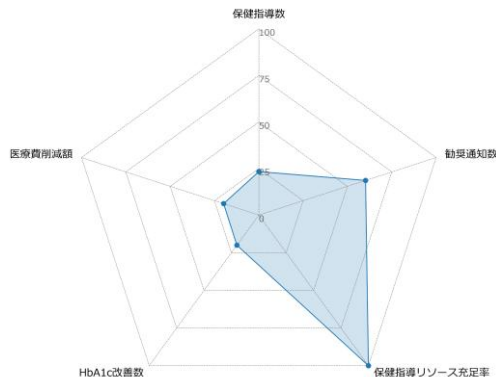
数理的な解析技術

組み合わせ最適化
アルゴリズム

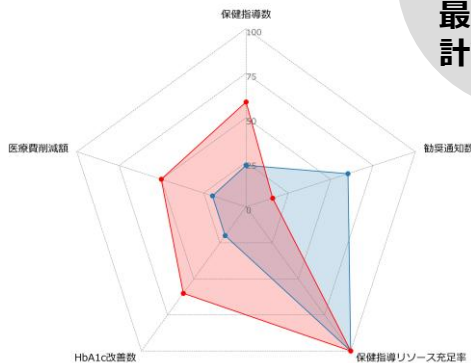
ユースケース：行政における保健事業での取り組み uvance

- 実証により医療費節減・健康改善に2倍以上の効果の施策を導出

当初施策

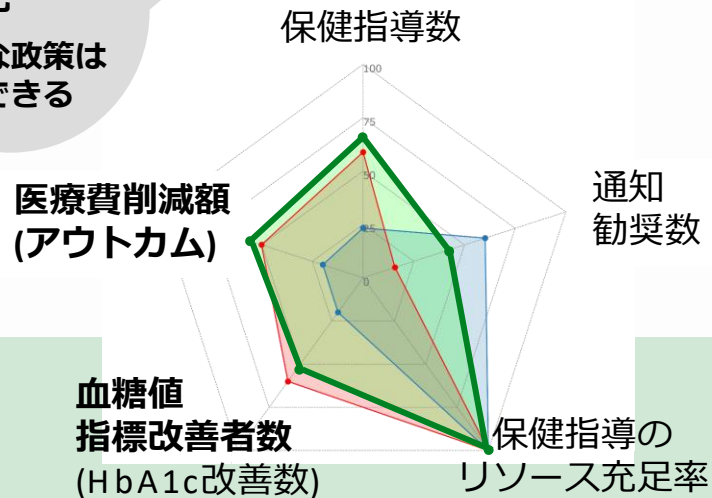


他市の施策



同じ予算で
アウトカムを
最大化
最適な政策は
計算できる

合成施策
(いいところ取り)



防災、インフラ整備・交通、教育、経済、雇用・労働行政、警察等多様な領域での活用

業務と政策・経営意思決定の再設計により
AIドリブンな社会システムを実現し、
行政・社会インフラ・民間がつながる
持続可能な未来へと前進させる

本展示・資料に関するお問い合わせ先

富士通株式会社 Fujitsu Experience Day 2026 公共関連ブース事務局
contact-gopub@cs.jp.fujitsu.com

※お問合せいただく際、メール件名か本文に
「展示：デジタルツインを用いた政策設計によるEBPM推進強化、に関する問合せ」と
ご記載ください